

第71回

長崎県小・中学校児童生徒美術作品展

子ども県展

特別賞受賞作品集



長崎県教育委員会
長崎県造形教育研究会

作品集発刊にあたって

～ 自由な発想と際限なき創造への新たな一歩としての鑑賞を ～

この作品集は、応募作品の中から、特別賞（知事賞、教育委員会賞、造形教育研究会賞）を受賞した42作品を掲載しています。一次審査・二次審査・特別賞審査を経て選出されたこれらの作品は、どれも印象深く、若さあふれる作品ばかりです。

第71回「子ども県展」には、県内の小・中学校471校から83,394名が参加し、96,285点の応募がありました。限られた授業時間において、試行錯誤をくり返し、創造する楽しさを感じながら制作に打ち込む姿が目に見えました。

この作品集や作品展での鑑賞は、多種多様な魅力的な作品を目にした児童生徒の皆さんが、作者の「思い」を巡らせ、その「表現」に共感・感動する中で、次なる創作活動への意欲の高まりや表現スキルの向上など、自由な発想と際限なき創造への新たな一歩として、より一層充実した制作活動の一助となるでしょう。

昨年、開催された「ながさきピース文化祭2025」では、「子ども県展」もその一端を担い「子どもと大人をつなぐ県展」として第70回長崎県美術展覧会（長崎会場）で、「子ども県展」特別賞作品を展示し大変ご好評を頂きました。この取り組みは継続し、今年9月に開催される第71回長崎県美術展覧会（長崎会場）においても、今回の「子ども県展」特別賞作品を展示する予定ですので、是非、足を運んでいただけると幸いです。

今後も、本県の未来を担う児童生徒の皆さんには、図画工作・美術はもとより、多様な文化芸術に触れることを通して、感性を磨き、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培ってほしいと願います。また、表現・創作活動に積極的に取り組み、本県の文化の継承と発展に大きな役割を果たしてくれることを期待します。

結びに、作品展の開催及び作品集の刊行にあたり、御尽力いただいた多くの皆様に心から感謝を申し上げますとともに、受賞された皆さんのさらなる活躍を祈念します。

令和8年1月
長崎県教育委員会



五島市立緑丘小学校
1年 赤星 来依



佐世保市立福石小学校
2年 荒木 優弥



諫早市立飯盛東小学校
3年 鶴田 琴葉



島原市立第一小学校
4年 北田 結彩



大村市立西大村小学校
5年 里脇 颯真



佐世保市立東明中学校
2年 古川 心



長崎市立戸町小学校
6年 本多 愛梨



長崎大学教育学部附属中学校
1年 吉田 琴葉



新上五島町立若松中学校
3年 鵜瀬 紗和



諫早市立北諫早小学校
1年 堀 三葵



松浦市立志佐小学校
2年 山田 輝零



平戸市立大島小学校
3年 濱岡 慶翔



壱岐市立筒城小学校
4年 久原 怜紗



諫早市立喜々津小学校
5年 福井 萌々花



長崎市立南陽小学校
6年 佐藤 れんか



大村市立大村中学校
1年 大岩 朋未



島原市立三会中学校
2年 松本 悠希



佐世保市立愛宕中学校
3年 山田 隆信



南島原市立布津小学校
1年 山下 晴ノ介



長崎市立西城山小学校
2年 三谷 悠翔



佐世保市立宮小学校
3年 于 涵



島原市立湯江小学校
4年 永田 旺祐



壱岐市立初山小学校
5年 馬場 仁菜



佐々町立口石小学校
6年 里村 萌々香



長崎大学教育学部附属中学校
1年 牟田 ありさ

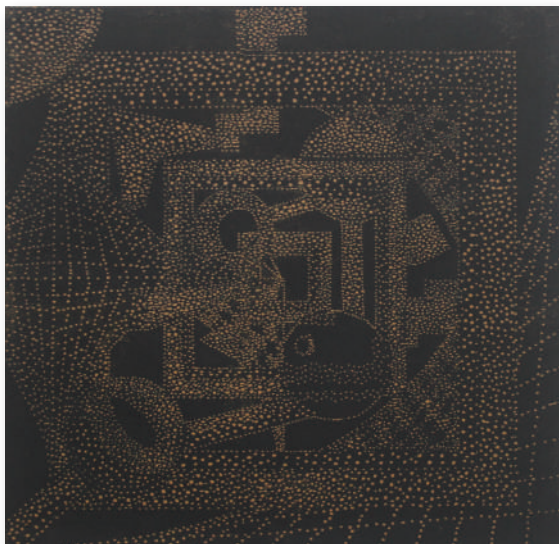


大村市立郡中学校
2年 里 渚紗



大村市立郡中学校
3年 橋本 琉花

知事賞



大村市立玖島中学校
3年 本山 環

教育委員会賞



対馬市立厳原中学校
2年 李 承勲

造形教育研究会賞



南島原市立加津佐中学校
3年 吉田 愛実



佐世保市立広田中学校
1年 楠本 紗彩



諫早市立諫早中学校
2年 本村 旭



県立佐世保北中学校
3年 黒瀬 心和



佐世保市立日宇中学校
1年 山崎 莉央



長崎市立三和中学校
2年 梅木 光



佐々町立佐々中学校
3年 米田 絢音



佐世保市立相浦中学校
1年 松下 瑠衣



長崎市立琴海中学校
2年 岳本 桜



長崎市立東長崎中学校
3年 田淵 結菜

知事賞



佐世保市立福石中学校
3年 石井 結菜

造形教育研究会賞



南島原市立南有馬中学校
3年 石川 凌雅

教育委員会賞



長与町立高田中学校
2年 高見 桃夏

第71回 長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」

特別賞受賞者名簿 【知事賞】14点

【絵画部門】

学 年	学 校 名	氏 名
小学校	1 年 五島市立緑丘小学校	赤星 来依
	2 年 佐世保市立福石小学校	荒木 優弥
	3 年 諫早市立飯盛東小学校	鶴田 琴葉
	4 年 島原市立第一小学校	北田 結彩
	5 年 大村市立西大村小学校	里脇 颯真
	6 年 長崎市立戸町小学校	本多 愛梨
中学校	1 年 長崎大学教育学部附属中学校	吉田 琴葉
	2 年 佐世保市立東明中学校	古川 心
	3 年 新上五島町立若松中学校	鵜瀬 紗和

【版画部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	3 年 大村市立玖島中学校	本山 環

【デザイン部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	1 年 佐世保市立広田中学校	楠本 紗彩
	2 年 諫早市立諫早中学校	本村 旭
	3 年 県立佐世保北中学校	黒瀬 心和

【立体部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	3 年 佐世保市立福石中学校	石井 結菜

特別賞受賞者名簿 【教育委員会賞】 14点

【絵画部門】

学 年	学 校 名	氏 名
小学校	1 年 諫早市立北諫早小学校	堀 三葵
	2 年 松浦市立志佐小学校	山田 輝零
	3 年 平戸市立大島小学校	濱岡 慶翔
	4 年 壱岐市立筒城小学校	久原 怜紗
	5 年 諫早市立喜々津小学校	福井 萌々花
	6 年 長崎市立南陽小学校	佐藤 れんか
中学校	1 年 大村市立大村中学校	大岩 朋未
	2 年 島原市立三会中学校	松本 悠希
	3 年 佐世保市立愛宕中学校	山田 隆信

【版画部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	2 年 対馬市立巖原中学校	李 承勲

【デザイン部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	1 年 佐世保市立日宇中学校	山崎 莉央
	2 年 長崎市立三和中学校	梅木 光
	3 年 佐々町立佐々中学校	米田 絢音

【立体部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	2 年 長与町立高田中学校	高見 桃夏

特別賞受賞者名簿 【造形教育研究会賞】 14点

【絵画部門】

学 年	学 校 名	氏 名
小学校	1 年 南島原市立布津小学校	山下 晴ノ介
	2 年 長崎市立西城山小学校	三谷 悠翔
	3 年 佐世保市立宮小学校	于 涵
	4 年 島原市立湯江小学校	永田 旺祐
	5 年 壱岐市立初山小学校	馬場 仁菜
	6 年 佐々町立口石小学校	里村 萌々香
中学校	1 年 長崎大学教育学部附属中学校	牟田 ありさ
	2 年 大村市立郡中学校	里 渚紗
	3 年 大村市立郡中学校	橋本 琉花

【版画部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	3 年 南島原市立加津佐中学校	吉田 愛実

【デザイン部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	1 年 佐世保市立相浦中学校	松下 瑠衣
	2 年 長崎市立琴海中学校	岳本 桜
	3 年 長崎市立東長崎中学校	田淵 結菜

【立体部門】

学 年	学 校 名	氏 名
中学校	3 年 南島原市立南有馬中学校	石川 凌雅

審 査 員 講 評

絵画部門(小学校) 低学年

第71回「子ども県展」特別賞審査会にあたり参加者の一人として、まずは児童のみなさんに対してねぎらいと感謝を伝えたい気持ちです。有意義な緊張感とワクワク感をありがとうございます。日頃通う小学校や自然環境などから制作テーマと出合いダイナミックな空間構成へ。遠くから近くから観てもインパクトがあって甲乙つけがたい優れた作品群に包まれました。題名からも児童の思いをくみ取って頂ければ幸いです。作品をつくるのは簡単ようで難しいと思いますが今後も失敗を恐れずに楽しみながら積極的な気持ちで制作されることを期待致します。ご指導の先生の話やお友だちとのつながりの輪を広げてさらにがんばってください。最後に、「子ども県展」の益々の繁栄を願っています。

画家 松下 卓生

絵画部門(小学校) 低学年

低学年の作品、一つ一つからは、作者である子どもたちが、経験したり想像したりして感じたことを自由に表すことに熱中している様子と、画面全体からあふれ出るエネルギー、そして描く喜びが強く伝わってきました。特別賞として選出した作品は、その絵を描いた子どもにしか発見できなかった驚きや出会いが満ちあふれていました。生き物の細部にまで熱いまなざしが注がれた観察画や動きの瞬間を捉えたダイナミックな構図など、感覚的な体験を素直に表現しようとする力が作品から伝わってきました。

また、クレヨン、絵の具、スタンプ、コラージュなど多様な素材や技法を自己決定し、特定の質感や表したいことを見事に表現していました。先生から学んだ技法を生かし、失敗を恐れずやってみる姿勢が感じられました。

主題をのびのびと力強く描き込み、試行錯誤を重ねて得た感覚は、心を育てる栄養になります。これからも、感じたことや考えたことを素直に表現し、感性を磨いてほしいです。末筆ながら、限られた時間の中で、子どもたちの思いを引き出し、支えてくださった先生方の日々のご指導に敬意を表します。

長崎県造形教育研究会 会長 原口 徹弥

絵画部門(小学校) 高学年

「何時間でも見ていたい」、そんな自由で大胆な作品の数々が、大人をあっという間に驚かせます。幾重にも筆跡を重ね、移ろう自然光の一瞬の美しさを絶妙なゆらぎで表現した作品や、水を飲み干す人物と、背景にざらりと輝く太陽とのコントラストにより、熱や水の冷たさまで想像させる版画作品など、どの作品から子どもたちの感動があふれています。創造活動を通し、子どもは作品と対話しながら、過去と今の自分を見つめ、未来に思いを馳せているのかもしれない。どの作品にも、日々の生活への愛着や無心で創ることを楽しむ子ども自身の存在が感じられます。身につけた表現技術は、子どもが自分の感性を信じる力となり、ダイナミックな表現を生み出すのでしょうか。子どもの「今」が作品の中で永遠の時間を刻んでいます。

長崎県県民生活環境部 森 法子

絵画部門(小学校) 高学年

今回出会った作品は、「何気ない日常の中に見つけた一瞬の感動」や「思いもしなかった絵の具の表情に出会った瞬間」などを、大切に切り取ったり、大事に大事に手ですくい上げたりしたような表現がたくさんありました。絵を描いたみなさんの、丁寧な心の働き方と頭の働き方によって、形となり作品に表れているのだと思います。こうした作品からは、自分が感じた感動を、友達や先生、絵を見てくれる人達と分かち合いたいという思いが強く伝わってきます。作品を見ている間は、絵を通じて作者であるみなさんとおしゃべりしているようで、体の真ん中あたりがじわじわと熱くなるような、ドキドキするような感じがして、素敵な時間をプレゼントしてもらいました。

長崎県教育センター研修部 指導主事 中尾 良太

≫審査員講評つづき

絵画部門(中学校)

絵画部門の作品は見応えのある力作揃いで、作品を仕上げるまでの地道な努力の過程と完成の喜び、そして傍らで指導に当たった指導者の姿が伝わってきて、感動を覚えました。特別賞選考においては審査基準（①発想、構想②表現力、技術③制作への思い）に照らして、中学生らしいみずみずしい感性から生まれた気づきを基に想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくり出している独創性が感じ取れる作品を選出しました。社会の情報化が進み、身近な端末を使って多様なアイデアや優れた作品の情報を容易に入手できるようになりました。その反面、データ化仕切れない感覚的・身体的な体験の意義も大きくなっています。課題や対象から受ける純粋な発想や構想が「かたち」となっていく思考過程を大切にしつつ、情報機器を有効に使う「自分らしさ」が表現される作品作りを期待します。

画家 浅野 類二

版画部門(中学校)

版画の制作は常に手仕事と結びつき、版づくりでは素材の手ごたえを通した触覚や質感や刷りの際に生まれる偶然性の面白さなど、素材との対話が楽しめます。また、「版」という制約があるからこそ求められる構図や表現方法の工夫は、創造的指向を促し、デジタルでは得難い経験を私たちに与えてくれる分野です。

今回、点や線が持つリズムや調和を巧みに取り入れた作品や、精緻な線の積み重ねと余白を生かし、作者の対象への眼差しを感じさせる作品が注目を集めました。これからも、自分で問いや答えを作り出していく創作の喜びを感じながら作品制作に取り組んでほしいと思います。

長崎県教育庁 義務教育課 係長 増山 雄一郎

デザイン部門(中学校)

デザイン部門の作品は、題材の目的や条件を踏まえ、構想を練って丁寧に仕上げた力作ぞろいでした。特に、地域の特色を生かした作品や、今流行するデザインの要素を自分なりに再構成した作品には独創性と中学生らしい感性が光っていました。審査では、表現技能だけでなく発想の面白さや表現の独創性を重視し、課題に真剣に向き合った等身大の作品を選出しました。題材は「平面構成」、「ポスター」、「イラスト」が中心で、いずれもデザインの学習に適していますが、特にポスターは完成までに時間を要しますが、構想不足から似通った作品になっている傾向も見られます。発想を深めるためには、テーマや条件・目的を見直し、身近な生活や社会との繋がりを意識することが大切です。私たちの周りには多様なデザインがあふれています。日常に目を向け、そこから新しい発想を広げることで、より個性豊かな作品が生まれるでしょう。

画家 浅野 類二

立体部門(中学校)

限られた美術科の授業時間や美術室の施設設備等の中で生み出された「鑑賞者の五感」に訴えかける多種多様な魅力的な作品に出会い、私自身創作活動をしている者として大変大きな刺激を受けることができました。ありがとうございました。

立体部門はジャンルが広く、芸術比較がしにくいながらも作品の独創性、技術性、完成度の高さを重要視して選出し、賞としました。

立体表現は、ものづくりやアートの分野だけでなく、みなさんの想像力や思考力を刺激し、多様な能力を育む効果を有しています。数学や理科など様々な教科での応用力を発揮し、失敗を恐れず挑戦する姿勢は将来にわたって役立つ大切な経験となります。さらに、これらの経験を通じて協調性や共感性など、社会で生きる上で不可欠な能力を育むことができます。

これから、自分の「好き」なもの・ことを見つけ「どうすればより良いものができるか」いろんなことに挑戦し、続けてほしいと願っています。

彫刻家 馬場 正邦

第71回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」について

1 事業概要

県内小・中学生を対象にした図画工作・美術の総合作品展です。今年度は県内全域より、絵画・版画・デザイン・立体の4つの部門に9万点を超える応募がありました。

その中から審査によって選ばれた優秀作品の作品展を長崎市で開催します。

2 作品展

総合展 ○長崎県美術館 県民ギャラリー

令和8年1月20日(火)～1月25日(日) 10:00～20:00

※ 特別賞（知事賞、教育委員会賞、造形教育研究会賞）及び特選の全作品計830点を展示。

3 審査結果

校 種	出品校数	完成品数	入 選	特 選	特別賞
小 学 校	303	54,229	4,314	477	18
中 学 校	168	42,056	3,233	311	24
合 計	471	96,285	7,547	788	42

4 特別賞表彰式

展示作品830点のうち、特別賞審査会で特別賞（知事賞、教育委員会賞、造形教育研究会賞）に選ばれた児童生徒42名を対象に表彰を行います。

(1) 日 時 令和8年1月25日(日) 13:30～14:30

(2) 会 場 長崎県庁 1階 大会議室ABC

※ 問い合わせ先 長崎県教育庁学芸文化課 教育文化班 095-894-3385



長崎県

長崎県教育庁学芸文化課

長崎市尾上町 3-1 TEL: 095-894-3385